

わくわく広場



「地産地消型モデル」 ＝絆で作る「安心・安全」



当社は、「つくる人と食べる人を感動で結ぶ」をモットーに、地元の新鮮な産直食材や加工品などを取り揃えた「わくわく広場」を全国に100店舗以上展開しています。埼玉県内には、いずれもショッピングモール等に16店舗ございます。



事業紹介

『つくる』わくわく、『みつける』わくわく、「生産者さん」と「お客様」を結ぶのが、私たちわくわく広場です。生産者さんとお客様が集まり賑わう広場を通じて地域に根付く想いを守り、より豊かでわくわくする毎日をつくりたい、それが私たちの願いです。



「わくわく広場」が地域を結ぶ

わくわく広場では「生産者さん」と「お客様」がお店に集まる地域のコミュニティを提供しています。

地域とお客様を結ぶ

新鮮な野菜や果物、パン屋さんの焼ききたてのパンにお弁当屋さんのお惣菜、地域の1番がわくわく広場に集まります。また、生まれ育った地域でしか見かけない懐かしい品や、離れた地域の珍しい品をご用意し、日本の様々な地域をもっと身近に感じる出会いの場を提供しています。

地域と生産者さんを結ぶ

わくわく広場は日本各地に100店舗以上のお店を構え、こだわりをもった地元のお客様で賑わっています。心を込めて作られた品を魅力的に伝える売り場では、お客様と生産者さんが会話をすることも見受けられます。自慢の品を心行くまでお客様にアピールができるコミュニケーションの場を提供しています。



食品ロス削減のために

「地産地消型モデル」

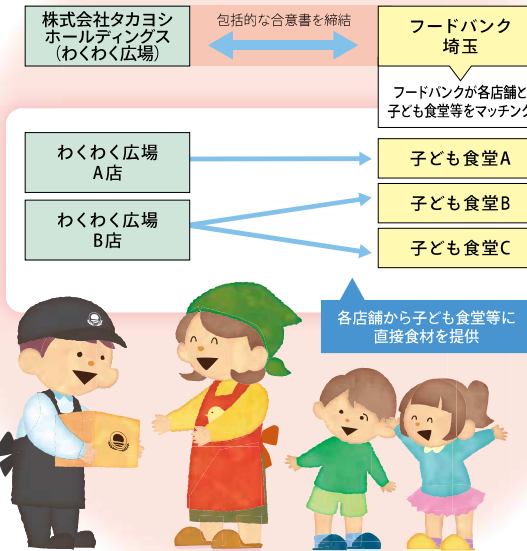
タカヨシの運営するわくわく広場では、地域ごとにその都度食品を活用する「地産地消型モデル」によって食品ロスの削減に取り組んでいます。

各地域に店舗展開するわくわく広場と、その地域で活動する子ども食堂とのマッチングによって、地域ごとに食品を活用し、ロスとなる食品を減らしています。本モデルは、

- 1これまで取り扱いが困難であった生鮮食品の提供が可能
 - 2地域内で直接受け渡しができるため運搬コストがかからない
 - 3活用側が必要とするタイミングで受け取れるため保管場所が不要
- など従来の課題を解決した取組となっています。



「地産地消型食品ロス削減モデルイメージ図」



株式会社タカヨシホールディングスからのメッセージ

本取組は食品ロスの削減だけでなく、地元で生産された産直食材が子ども食堂を通して地域で再活用されるため、地元の生産者様からも好意的な意見を頂いています。現在は埼玉県だけでなく、全国各地で約90店舗で食品提供の取組を始めています。当社は今後も本取組の対象となる店舗を拡大し、わくわく広場を通して安心と笑顔が広がる世界を実現して参ります。